

要 望 書

令和6年5月
八 幡 市

本市におけるバス路線の維持に関する要望について

貴社におかれましては、バス事業の安全確保と利用者への安定した輸送サービスの提供に御尽力いただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

バスをはじめとする公共交通を取り巻く環境は、人口の減少等に起因する利用者の減少や物価・燃料費高騰等の経費増加による採算性の低下に加え、慢性的なバス運転士不足等により、厳しい経営環境にあるとされています。

貴社におかれましても、近年採算性や運転士不足を理由にバスの減便・休廃止が続き、この5月27日にも暫定的なものであると伺っておりますが、本市市域を運行する38便/日の減便を実施されております。

厳しい経営環境にあることは理解しておりますが、貴社のバス路線は、本市には欠くことの出来ない公共交通機関として通勤・通学手段、高齢者の基幹的な交通手段を担い、社会活動の源となる役割を果たしております。

バスの減便・休廃止が市民生活や企業活動に多大な影響を与えるものであるという点を、公共交通事業者として重く受け止めていただき、現在のバス路線の維持に取り組んでいただきたいと存じます。

併せて、やむを得ず路線の見直しを行う場合は、十分な時間的余裕をもって八幡市地域公共交通会議及び地元にて丁寧な説明を行うとともに、影響低減のための施策立案や事業実施に責任をもって、全面的に御協力いただきますようお願い申し上げます。

令和6年5月31日

京阪バス株式会社
代表取締役社長 三浦 達也 様

八幡市長 川田 翔子

